

# 地方創生加速化交付金事業検証

- 事業名 芝ざくらから広がる花と渓谷通年観光誘客促進事業
- 実施主体 芝ざくら滝上公園認知度向上推進事業実行委員会
- 事業実績額 14,880千円
- 事業期間 平成28年11月～平成29年3月
- 事業背景 町の観光資源の核である「芝ざくら」は57年の歴史を重ね、見ごろである5～6月の芝ざくら時期の観光客は、平成6年度の18万人をピークに減少を続け、平成21年度から5万人前後の厳しい状況となっている。年間観光入込客の約5割が芝ざくらの時期に集中し、町内の宿泊施設、飲食店を支え、地域住民の安定的な生活を支えるためには、春の芝ざくらから、渓谷等の資源を活用した通年観光をコーディネートできる人材の育成・確保が課題となっている。  
 事業目的 観光客全体に占める日本人の割合は減少し、国内に対して強力的にプロモーションを展開できる人材の育成・確保による芝ざくらの更なる認知度向上が必要である。  
 このような状況下、芝ざくらを核として、市街地中心の渓谷を活用した健康促進等を取り込んだモデルプランを形成し、観光による操業と誘客促進に繋げる人材の育成と確保を目的とした取り組みを加速化させる。

計画（PLAN）				実施内容（DO）		評価（CHECK）		改善（ACTION）	外部有識者による評価
事業の内訳	事業概要	交付対象事業に要する費用	重要業績評価指標（KPI）	事業実績		評価検証	重要業績評価指標（KPI）	次年度実施内容	
通年観光資源活用事業	道内外都市圏をターゲットとした花と渓谷を核とした観光の通年化である。健康を意識したフィールドとして渓谷を活用し、春の芝ざくらから渓谷を活用した通年のモデルプランの確立と、それを活用して発信するコーディネーターの育成を図る。	モニターツアーによる通年のモデルプラン作成及びコーディネーター育成 ・モデルプラン作成・研修費 3,240千円	観光入込客数 67,800人（H26） ⇒73,000人（H28）	モニターツアーによる通年のモデルプラン作成及びコーディネーター育成 ・モデルプラン作成・研修費 <b>3,952千円</b> 委託料 3,950千円 役務費 2千円		ワークショップから取り組んだモデルプラン作成は、人材育成しながら地域資源の掘り起こしを図り、滝上町の魅力を商品化につなげる取り組みが大きな成果となった。スキー場や冬の渓谷の活用を幅を広げるアクティビティの研修は冬の商品化につながる取り組みとして効果的であった。	観光入込客数 67,800人（H26） ⇒64,639人（H28）	屋外での体験メニューの実施には、リスク管理や資格等が必要になるメニューが多くあるため、資格取得等も含めた計画的な人材の育成とメニュー開発に係る研修は今後も拡大して継続する必要がある。	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
芝ざくら認知度向上事業	芝ざくらの更なる認知度向上である。近年低迷する国内観光客に対して、効果的に芝ざくらのプロモーションを実施し、プロモーション実践による人材の育成と確保を図る。	国内に対して芝ざくらのプロモーション活動 ・広告宣伝費 5,400千円	宿泊客数（団体） 14,600人（H27） ⇒15,700人（H28）  外国人観光客（団体） 8,632人（H27） ⇒9,300人（H28）  道の駅売上 26,406千円（H27） ⇒28,400千円（H28）	国内に対して芝ざくらのプロモーション活動 ・広告宣伝費 <b>5,429千円</b> 役務費 4,645千円 委託料 558千円 旅費 100千円 消耗品費 126千円		パンフレットのリニューアル、国内向けで取り組み例のない大胆な広告展開、旭川圏の現地プロモーションなどは広く芝ざくら滝上公園の認知度が高まる取り組みとして効果的であった。	宿泊客数（団体） 14,600人（H27） ⇒12,496人（H28）  外国人観光客（団体） 8,632人（H27） ⇒6,980人（H28）  道の駅売上 26,406千円（H27） ⇒26,054千円（H28）	芝ざくら認知度向上のための広告展開に滝上町ならではの物語を付加し、広告を行う地域や世代等、戦略的な展開を図る。広告展開は拡大して継続実施する必要がある。	
共通経費	公共交通機関の整備がされていない紋別市、湧別町、滝上町など周遊観光ルートの2次交通対策を実施することにより旭川圏からの誘客を図る。	バス会社と連携して、モデルルートの実行とバス車体ラッピングによる広告により旭川圏からの誘客促進。 ・2次交通対策 5,400千円  本事業の事務処理全般を担う人材の登用 ・臨時職員人件費 900千円 ・福利厚生費 135千円		バス会社と連携して、モデルルートの実行とバス車体ラッピングによる広告により旭川圏からの誘客促進。 ・2次交通対策 <b>5,255千円</b> 委託料 5,255千円  本事業の事務処理全般を担う人材の登用 ・臨時職員人件費 <b>244千円</b> 賃金 240千円 役務費 4千円		都市間高速バス、観光バスに地域の観光資源をラッピングし、札幌圏など道内人口集中圏での運行ではインバウンドにも訴求が高まる取り組みとして効果的であった。		バス会社のみならず、公共交通機関との滝上町のイメージアップは拡大して継続する必要がある。	